

# ディベートの授業

担当： 、

あるテーマについて賛成派と反対派に分かれ、ルールに従って議論を行い、どちらの主張が優れているかを競い合う。

## 1. 目標

テーマ（自然科学に関する問題）に対する、その複雑性と多面性の理解を深める  
情報を収集し分類し構築する技術を習得（KJ法）する  
パワーポイントによるプレゼン技術の向上を目指す  
ディベートによる論理的に説明する技術力の向上を目指す  
メディアリテラシー（メディアから流される情報をうのみにしないで批判的に読み取る力）の向上を図る

## 2. テーマ（次の中から選択し、肯定派、否定派を決める）

地球の温暖化は真実である  
ロボットと人間は共生できる  
トウモロコシを原料としたバイオエネルギーの利用はよいことである  
小・中学生に携帯電話はいらない  
宇宙開発は税金の無駄使いである  
遺伝子組み換え食品は安全である

## 3. 授業展開（45分×6コマ）

- ・班分け（一班5名・名簿順）・全体説明と資料配付・テーマ決定（30分）
- ・情報収集と分類（45分）      アウトライン（個人）の作成（15分）
- ・アウトライン（全体）の作成（15分）      パワーポイントによる資料作成      ・リハーサル（発表準備30分）      ディベート本番（45分×2ラウンド）

引用・参考については出典を明記のこと

## 4. 流れ

- ・グループ分け（テーマ毎の肯定派と否定派）と役割分担（立論2・質疑1・反駁2）
- ・個人による情報収集      各自による資料の収集と保存（主にインターネットの活用）
- ・個人によるアウトラインの作成・提出      論理的構成（根拠と意見）
- ・グループによるアウトラインの提出  
各自のアウトラインを検討し、グループ方針を立て、アウトラインを作成（ブレインストーミングを使う）
- ・グループのアウトラインに沿って、プレゼン資料をパワーポイントでつくる
- ・リハーサル  
プレゼンテーションのリハーサル  
プレゼンター（発表）・オペレーター（操作）・記録係・ジャッジ
- ・プレゼンテーションおよびディベート  
立論（プレゼンターが発言）      肯定派：立論（5分） 否定派：立論（5分）  
原稿の丸読みは禁止（評価 0）      検討時間（3分）  
質疑（オペレーターが発言）      肯定派：質疑（3分） 否定派：質疑（3分）  
参考程度ならば原稿を見てよい      検討時間（3分）  
反駁（記録係が発言）      肯定派：反駁（2分） 否定派：反駁（2分）  
判定（ジャッジ）      ジャッジ：内容審査および発表（5分）

## 5. 成績評価

- ・ノート（個人の作成資料および班の作成資料（コピー）はすべてノートに貼る）
- ・ジャッジの結果
- ・活動中の関心・意欲・態度（減点法による）

## 6. その他

- ・試合をしないジャッジチーム（10）が司会兼計時（1）、審判（9）を受けもつ  
審判が欠席等で偶数人になったときは司会兼計時もジャッジに加わる